

平成28年度大磯町教育委員会第10回定例会議事録

1. 日 時 平成29年1月19日（木）
開会時間 午前9時00分
閉会時間 午前10時35分
2. 場 所 大磯町役場4階 第1会議室
3. 出席者 藤 家 崇 教育長
中 野 泉 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
曾 田 成 則 委員
濱 名 三代子 委員
岩 本 清 嗣 教育部長
小 島 昇 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
森 田 敏 幾 参事（地域総合戦略担当）
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
佐 川 和 裕 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
早 崎 薫 生涯学習課図書館長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 2名
6. 教育長報告
7. 付議事項
議案第13号 平成29年度当初予算における教育委員会予算要求について
議案第14号 大磯町立図書館サービス計画の策定について
8. 協議事項
協議事項第1号 教育長職務代理者の指名について
協議事項第2号 平成29年度教育委員会基本方針（案）について
9. 報告事項
報告事項第1号 平成28年第4回（12月）大磯町議会定例会について
報告事項第2号 平成28年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの実施結果について
報告事項第3号 企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」の実施結果について

- 報告事項第4号 図書館教養講座『駅舎をめぐる冒険』について
報告事項第5号 児童文学講演会『絵本の力 紙芝居の力』について

10. その他

(開 会)

教育長) 出席委員が5名で定足数に達しており、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立します。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(平成28年度第9回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成28年度第9回定例会議事録」は、1ページから10ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成28年度第9回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) それでは、12月定例会開催後の平成28年12月22日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

1月8日、大磯運動公園におきまして、消防出初式が開催されました。今年も国府中学校の吹奏楽部の生徒が演奏を行い、出初式に華を添えました。風の冷たい日でしたが、聴衆の方々の心を暖める演奏だったと思います。

翌日の1月9日、国府小学校体育館を会場に、成人式・新成人記念の集いを開催しました。詳細につきましては、後ほど事務局より報告いたします。

1月14日、国指定重要無形民俗文化財である「大磯の左義長」が行われました。大磯中学校の1年生が、今年も地域の方々と一緒にサイトづくりを行いました。

1月15日、大磯一周駅伝大会並びに小学生駅伝大会が開催されました。大磯小学校からは教員チームが出場し、児童・保護者からの声援を受けて善戦しておりました。また、小学生駅伝大会には11チームの参加があり、大人に負けない元気な走りを見せてくれました。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、12月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事、その他について、今月は特に報告事項はございません。報告につきましては、以上でございます。

教育長) それでは、議事に入ります。本日の議事進行につきましては、協議事項第1号が人事案件となりますので、はじめに付議事項2件、次に協議事項第2号、報告事項5件を扱い、その後、協議事項第1号の順で審議を進めてまいりたいと思います。ご協力をお願いします。

議案第13号 平成29年度当初予算における教育委員会予算要求について

学校教育課長) それでは、説明資料の2ページ、3ページをお開きください。学校教育課の予算要求の説明をいたします。

まず、予算科目の教育総務費は、3ページにありますように、要求額7,778万1千円、前年度比較で1,073万7千円の増額となります。増額につきましては、これまで小学校費と中学校費に分かれていました学校職員校務用コンピュータ整備事業を、教育総務費にまとめ、小・中学校で同じシステムの校務用コンピュータを整備することが主な要因となります。

そのほか、12年間使用し老朽化した公用車の更新、中学校への教育支援員の増員、学校図書館図書購入費充実を行いたいと考えています。また、県教育委員会からの委託で4年間にわたり実施してきました「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」は終了しますが、引き続き町として「大磯学びづくり事業」を実施し、教員の指導力向上、児童・生徒の学力向上に努めてまいります。

次に、3ページの小学校費です。要求額は9,367万円、前年度比較560万8千円の減額です。減額につきましては、国府小学校施設整備事業として実施しました、校舎屋上防水改修工事の終了と学校職員校務用コンピュータ整備事業の教育総務費への移行が主な要因となります。懸案となっていました両小学校へのインターホン設置のほか、国府小学校給食室の老朽化した食器洗浄機の更新を実施する計画です。

次に、4ページの中学校費です。要求額は8,845万円で、前年度比較102万円の増額です。大磯中学校3号館の大規模改修工事实施に向け、基本設計の委託を行うことが増額の主な要因となります。学校教育課は以上です。

子育て支援課長) それでは、子育て支援課の教育費、幼稚園に係る平成29年度予算要求について、ご説明いたします。資料の5ページをご覧ください。

それでは、幼稚園費の幼稚園運営事業ですが、町立幼稚園3園の運営に必要な消耗品や印刷代の他に、臨時教諭、また幼児教育の充実を図る教育支援員などを配置するための費用となっております。平成29年度は、臨時教諭及び預かり保育士の賃金について増額の単価改正を予定しております。また教育支援員については、支援が必要なお子さんの人数により毎年変更しておりますが平成29年度は増員する見込みです。預かり保育については、現在週3回実施しておりますが、平成29年度は保育時間を30分延長することで、保護者の方の利便性の向上を図っていきたいと考えています。また、平成28年度より新たに実施いたしました「夏季保育」については、平成29年度も引き続き実施し、子育て支援の充実を図ってまいります。

次に、幼稚園施設・設備維持事業については、施設の維持管理を行うための費用で、概ね今年度と同様の内容となっております。増額の主な理由とい

たしましては、国府幼稚園の工事期間中の保育環境への配慮として、保育室にエアコンを設置いたします。また、たかとり幼稚園の雨水・排水対策といたしまして、園舎の北側と東側に水中ポンプの設置する予定となっております。

次に、私立幼稚園就園補助事業では、子ども・子育て支援新制度に移行しない町外の私立幼稚園に通う園児の保護者に対し、経済的な負担を軽減するための補助してまいります。就園補助については、平成 26 年度をピークに減額傾向にありますので、平成 29 年度予算についても 1 割程度減額しております。

幼稚園費の上記 3 事業に係る平成 29 年度の要求額が 6,401 万 1 千円で、前年度予算額が 6,202 万 5 千円ですので 198 万 6 千円の増額となっております。

子育て支援課の教育費 幼稚園に係る平成 29 年度当初予算の説明については、以上となります。

生涯学習課長) 続きまして生涯学習課関係の予算要求の説明をいたします。生涯学習課の要求額は 2352 万 9 千円です。前年度比で 55 万 6 千円の増額となっております。主な増額理由についてですが、社会教育総務運営事務事業の中で「大磯町生涯学習推進計画」に基づくアンケート調査を実施するための印刷費、郵送料を増額しております。これは新規事業にあたります。文化財保護事業におきまして、国・県の補助事業として 3 年継続で実施しております「国府祭調査事業」の 2 年目にあたり、国府祭の現地調査が増えるため、調査員の謝金、旅費、写真撮影手数料などの増額を見込んでおります。また、町指定文化財の御船祭の山車の修理について補助金を計上しております。

図書館長) 生涯学習課図書館の要求額は 4,299 万 2 千円で、前年度比で 1 万 8 千円の増額でほぼ前年度並みとなっております。新規の項目としては、図書館維持管理事業でみんなのトイレ便座交換取付修繕、図書館コンピュータ・ネットワークシステム推進事業で小中学校図書館用パソコンの借上げ、子ども読書推進事業で推薦図書用児童書の購入とスタンプラリー・カードの印刷を計上しております。

郷土資料館長) 資料 8 ページをご覧ください。要求額が 3,934 万 5 千円で、前年度比、7,566 万 2 千円の減でございます。

減額の主な理由は、郷土資料館リニューアル及び旧吉田茂邸再建工事が終了したことによる減によるものです。

また、その他主な内容といたしましては、大磯町指定文化財である木造神像の保存処理、また、郷土資料館維持管理事業のうち隔年で実施している燻蒸委託を来年予定しております。

旧吉田茂邸につきましては、今年度は維持管理事業として計上してございましたが、開館する 29 年度につきましては、郷土資料館本館と同じ形で、新規事業として、旧吉田茂邸の運営事務事業・維持管理事業・学芸活動事業・研修等事業として計上しております。

質疑応答)

曾田委員) 学校教育課にお尋ねしたいのですが、健康管理事業の中に教職員のメンタルヘルスチェックがございますけれども、これは文字どおり、そのとおり受けとめていいのか、あるいは何か他に意図があって実施するのか教えていただけますか。

学校教育課副課長) 平成 27 年の 12 月の法改正により、メンタルヘルスチェックを学校の先生方全員が行うということになりまして、昨年 28 年の夏に、実施第 1 回目がありました。これは法に基づくメンタルヘルスチェックということで、そのとおりやらせていただいて、滞りなく終了しております。その内容についても町の安全衛生委員会の中で検討をしておりますし、これからも継続して行っていきたい事業でございます。以上です。

曾田委員) 実は同じメンタルヘルスチェックがあるのですが、会社になりますと、使い方が意図的なものがございます、大変心配しています。今の、法律に基づいたというのが間違いなければ安心なのですが、その他に使う理由になることがあるので、十分気をつけていただきたい。そういうチェックもあるということ、一つ頭に入れておいていただければありがたいと思います。

青山委員) 学校教育課の費用の中で、今回要求は認められなかった内容だと思うのですが、健康管理事業に、臨時職員の健康診断の要求がありました。これが今回、学校教育課では認められなかったようなのですが、片や 5 ページの表では、幼稚園運営事業の中の文章の中で、臨時職員の健康診断受診料は、児童福祉総務費で要求して認められているという内容が載っています。幼稚園のほうで認められていながら、学校の方でこういう臨時職員の健康診断については、予算が認められないというのは、何か幼稚園と学校との区別があるのかとか、どういう事情があるのかということをお伺いしたいのですが。

子育て支援課長) こちらは記載の仕方が良くないですが、子育て支援課では保育園も所管しており、保育園等の臨時職員も含め全ての臨時職員について、児童福祉総務費で予算要求いたしました。学校教育課と同様に予算は付きませんでした。臨時職員の健康診断については、次年度に全庁的に話し合いを進めていくことになっておりますので、次年度以降、また予算要求をしていきたいと考えております。

青山委員) 分かりました。表から見ると、幼稚園のほうで認められているのかなという感じを受けましたので、ちょっとその辺の考えが足らず質問して失礼しました。

中野委員) 図書館のところなのですが、図書館コンピュータ・ネットワークシステム推進事業に、小中学校図書館用パソコンの借り上げというのがあるのですが、せっかく図書館と学校図書館との連携ができて、ネットワーク化しようというところに来て、これ借り上げというのはどういう事情なのでしょう。リース契約の更新ということですか。

図書館長) 小中学校図書館用パソコンの借り上げでございますが、予算要求の段階では、図書館のネットワークで学校連携を行うということで予算要求をしていたのですが、それは来年 1 年間、図書館と学校図書館の関係者で、連携システムについて、具体的に内容についての検討を行うということになりまして、予算は先送りになりました。それで、現在学校図書館で使っていますパ

ソコンが、平成 24 年度に導入したもので、もうパソコンの保証期間が切れますので、それで新たにパソコンの借り上げを行うということになりました。

濱名委員) 大磯幼稚園のエアコンの設置について、どうなったのか教えてください。

子育て支援課) 大磯幼稚園のエアコンにつきましては、予算要求させていただきましたが、こちらは現在、町の公共施設全体の見直しを行っている中で、その中で子育て支援課としての改修計画を立てた上で進めていくことになりました。次年度の予算はつきませんでした。今後計画を立てた中で進めていきたいと考えております。

濱名委員) 幼稚園、保育園を見ていると、大磯幼稚園だけエアコンが設置されていないので、早く認められるといいなと思います。

中野委員) 質問ではないのですが、やっと小学校のインターホンが設置というのが実現できるようになって、本当にうれしく思います。これはすごく長年にわたって予算要求を続けてきたものです。このように粘り強く予算要求を私たちはしてきたので、P T A 予算から、P T A の皆さんの会費から学校側から何か備品を買ってほしいなどという要求は、全くあり得ないことであり、そのような誤解が生じないように、引き続き必要なものに必要な投資ができるよう、予算要求をしていきたいと思っております。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第 13 号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第 13 号「平成 29 年度当初予算における教育委員会予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

議案第 14 号 大磯町立図書館サービス計画の策定について

図書館長) 付議事項第 14 号大磯町立図書館サービス計画の策定についてご説明いたします。

大磯町立図書館サービス計画につきましては、9月の定例会において、計画案についてご協議をいただき、その後、図書館利用者への意見公募を10月下旬から11月下旬まで実施して2件の意見をいただきました。その後、12月中旬に町議会の福祉文教常任委員会協議会で報告を行いました。本日は、議案第 14 号として、計画を策定することについて、承認をお願いするものです。議案書の次が、大磯町立図書館サービス計画の案になります。

9月の定例会でご協議いただいた以降の修正箇所についてご説明いたします。資料の2ページをお開きください。2ページの13行目の誤記の修正を行っています。「子ども読書年」と誤記していたものを「国民読書年」に修正しました。

次に11ページをお開きください、11ページの5行目に企画を実施の文の追加をしております。これは、9月の定例会の協議の中でいただいたご意見を検討して、追記したものです。

次に 21 ページをお開きください、(7) の下から 5 行目から 4 行目に（平成 23 年 10 月に「NPO 法人大きなおうち」に改称）の文を追加しております。これは、図書館利用者への意見公募での意見を検討して追記したものです。

次に 23 ページをお開きください。第三次計画推進のための重点施策と具体的取組の総括表になりますが、表中、2 のおはなしと紙芝居の具体的取組の項目に NPO 法人大きなおうちの文を追加しております。これも、図書館利用者への意見公募での意見をいただき、追記したものです。

隣の 24 ページの表中、上から 2 番目の枠の 18 図書館まつりの開催の具体的取組の項目にボランティア、NPO 法人大きなおうちの文の追記しております。同じ 24 ページの (7) の表に 3 としてわらべうたであそぼうの項目を追加しております。24 ページの 2 箇所も図書館利用者への意見公募での意見をいただき、追記したものです。

以上 6 箇所が修正箇所になります。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

質疑応答)

青山委員) 非常によくまとめられていて、わかりやすくでき上がっているという、まず全体を見せていただいた感想です。内容もちゃんと順を追って時系列に書かれていて、図書館の歴史から、現状についてもわかりやすく書かれていると思います。また、文章の下に総括表などを配置して、その前に書かれている文章を、非常に理解してもらいやすい形に工夫をされていると思います。

全体的に非常にいいと思うのですが、細かいところをちょっと言ってもよろしいでしょうか。一つには、1 ページ目の「はじめに」の部分で、最後の段落になりますが、「このように当館は」の最後に、「特有な文化を育んできた大磯町」というのについて、特有な文化とはどんな文化なのかなど。その辺を少し修飾するような言葉、あるいは文章も、ちょっと載ったほうがいいのかと思います。それより前の段落は、図書館の歴史についてずっと書かれているわけで、「特有な」というのを読んだときに、どんな特有なものがあるのだろうかというような、そういうことを感じた部分です。

それから、4 ページ目、4 の (2) の真ん中、中段より少し下に、「今後の課題としては」というところの、「今後」は 1 文字下げたほうがいいのかという部分です。

それから、最後になりますが、24 ページに表があります。その (4) 幼稚園・保育所なのですが、保育所というのは、保育園でなくていいのかと思ったのですね。前の文章でも、保育園と書かれています。この表の中にも、主管の中に幼稚園、保育所、幼稚園、保育所となっています。その辺、保育園のほうがいいのかどうか、ちょっと見ていただければと思います。

最後、これは別に訂正ではありませんが、18 ページの 4 の (1) の、「子どもは家族とのあたたかいふれあいの中で」という段落ですが、ここの 3 行の文章、非常にいいなと思って読ませていただきました。本当に、文化を育むにも、教育にしても、家庭が第一という考え方があらわれていて、この冊子にある中で、一番ここの 3 行目に共感を覚えたところです。

図書館長) 今いただいたご意見を添付させていただいて、修正をしたいと思います。あとは、1 ページ目の「特有情文化」のところも、少しこの言葉を修飾するような言葉を加えるような方向で、検討させていただきます。語句についても、保育所と保育園、これも統一して記載をいたします。

中野委員) このサービス計画に関する、図書館協議会委員たちの査閲と承認はどうなっているか教えてください。

図書館長) 図書館協議会におきましては、昨年度の3月に、図書館協議会において説明をいたしまして、そこでご意見をいただいております。その後、最終的にまとまったものについては、これから報告をする予定でございます。

中野委員) わかりました。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第14号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第14号「大磯町立図書館サービス計画の策定について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

協議事項第2号 平成29年度教育委員会基本方針(案)について

学校教育課副課長) 本日お示ししております案につきましては、事務局が素案として作成しました12月の案について、委員の皆様からご意見をいただき、いただきましたご意見を各課・館で検討した結果となります。12月の案からの修正箇所につきましては線を引いています。

このあと、各担当から修正箇所や特にお伝えしたい点について、学校教育課から順にご説明いたします。

それでは、まず、1ページの前文ですが、平成27年11月に策定した、大磯町総合教育会議の「大磯町教育大綱」を踏まえ、平成28年度は大幅に書き換えましたが、今回は特に新たに修正した箇所はございません。

続いて、1ページから4ページ学校教育の基本方針です。おめくりいただきまして、2ページ[重点施策]1. 幼稚園の(5)に、国府幼稚園の統合に伴う保育と並行した解体工事、また解体後には私立認定こども園の開設をすすめることについて、新たに加えさせていただきました。

3ページにまいりまして、2. 小学校・中学校におきましては、(1)4年間に渡り取り組んできた「かながわ学びづくり推進地域研究委託」の成果を継承し、引き続き、町立学校全校において「大磯学びづくり推進事業」を実施します。そして「日常授業の改善」に向けた取り組みをさらに「改善・充実」してまいります。

同じく3ページの(7)、平成28年4月1日から施行された障害者差別解消法、県のインクルーシブ教育の方針を踏まえ、平成29年度も町として、障害があるなしにかかわらず、すべての子どもが共に生きる教育を推進してまいります。

4ページ下の施設面(13)につきまして、国府小学校の校舎屋上防水改修工事を終え、平成29年度は大磯中学校大規模改修について基本設計委託を、

また大磯小学校第2音楽室の空調設備改修工事基本・実施設計委託を行います。

6ページの教育研究所ですが、社会科副読本「わたしたちの大磯」に続き、理科の副読本「大磯の自然（植物編）」は、今年度中に発行予定でありますので、特に平成29年度はございません。

なお、学校教育課の用語の解説になりますが、新たな修正はございません。
生涯学習課長）生涯学習課です。まず、重点施策の1項目めですが、大磯町生涯学習推進計画の計画期間の中間点を経過したことから、町民への生涯学習の認知度や町民ニーズを把握するためのアンケート調査を実施することを記載しました。続いて重点施策の2項目めに「時代に即した内容の充実に努める」というフレーズを加えました。3項目めについては、大学だけでなく、さまざまな機関や団体を含めて広く連携を求めていく表現に変えております。6項目めは、「おおいそ文化祭」の自主的な運営の支援のほかに、団体や個人に対する積極的な働きかけを継続して進めていく内容に変わりはありませんが、表現を変えております。

7項目めは社会教育施設において、旧吉田茂邸の開館により郷土資料館本館・別館の表現を加えております。11項目め、平成28年度から3年継続で進めております国・県補助事業である国府祭調査事業の推進を加えました。12項目め、町指定文化財の御船祭の船山車の修理について、地元からの要望に対して補助金等での支援を進めることを記載しました。生涯学習課は以上です。

図書館長）続きまして生涯学習課図書館です。基本方針に変わりはありません。目標の3に図書館サービス計画に掲げた、まちづくりや地域の課題解決に必要な資料の収集・提供を新たに加えました。続いて重点施策の4に学級招待、幼稚園及び保育所の図書館見学の継続に加えて、こちらも図書館サービス計画に掲げた、町立図書館と学校図書館の連携とネットワーク化を進めることを新たに加えました。図書館は以上です。

郷土資料館長）郷土資料館につきましては、28年度にリニューアルを終え、新年度にオープンする旧吉田茂邸を中心に重点施策の内容表記を変更しております。

まず、1、2は旧吉田茂邸の運営にかかわる内容記載です。

3、はリニューアル後の博物館活動に係る内容です。

28年度の5～7については、文言等を変更して、4～6に記載しております。概要は以上です。

質疑応答)

曾田委員）先ほど青山委員からも話がございましたように、図書館の8ページの4のところ、「幼稚園及び保育所」というふうになっていますので、どちらかに言葉を統一していただければいいのかと思いますが、よろしく願います。

図書館長）語句については、確認して統一するようにいたします。

濱名委員) 今の幼稚園、保育所の件なのですけども、昨年このような基本方針をしている中で、子育て支援課の中で、保育園とそれまで記述していたものを、保育所と変えていたような気がするんですけど、そのあたりいかがですか。

子育て支援課長) 保育園というものについて、施設の名称として使われる場合が多くて、基本的には保育所というのが正式名称になります。ですので、子育てのほうも変更してあります。

濱名委員) 同じ認識です。

中野委員) インクルーシブについて取り入れていただきまして、ありがとうございます。このところ、用語の解説、もし必要だったらつけ加えていただければと思います。

学校教育課副課長) インクルーシブ教育については、用語の解説に入れたほうがよいと思われまますので、後ほど加えさせていただきますと思います。

報告事項第1号 平成28年第4回(12月)大磯町議会定例会について

教育部長) それでは、報告事項第1号、平成28年第4回(12月)大磯町議会定例会の概要についてご報告します。

資料の1ページをお開き下さい。提出議案の一覧でございます。議会は平成28年11月29日に召集され、12月13日まで15日間の会期で行なわれました。

教育委員会関連は、アンダーラインでお示しした部分で、件数番号1、2、9、2ページの15、飛びまして4ページの2でございます。それでは、順に議案の審議についてご報告いたします。

5ページをご覧ください。議案第58号「平成28年度大磯町一般会計補正予算(第3号)」です。6ページをお開きください。

教育委員会関連は、6ページから8ページまで、アンダーラインでお示しした部分となります。

主な質疑内容は、小学校寄附金の寄附者について、幼稚園のピアノ移動費の内容についての質問がありました。

質疑終了後、討論、採決の結果、賛成多数で可決しました。

続いて、9ページをお開きください。11月30日、福祉文教常任委員会が開催され、教育委員会関係では、陳情2件と条例3件の審議が行われました。

はじめに9ページの陳情第18号「神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」についてです。

討論、採決の結果、「陳情の内容としては理解する」という意味の「趣旨採択」と決しました。

10ページをお開きください。陳情第19号「国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」についてです。

討論、採決の結果、趣旨採択と決しました。

次に11ページをご覧ください。議案第44号、大磯町子ども基金条例についてです。

主な質疑は、基金をつくる理由は。子どもの自主的な活動への支援とは。寄附者の意向への対応は。対象年齢は。ふるさと納税PRの対応は、などについての質問がありました。

討論、採決の結果、賛成多数で委員会可決されました。

次に、13 ページをお開きください。議案第 45 号、大磯町郷土資料館条例についてです。

主な質疑は、博物館施設となった経緯は、今後展開予定の事業は、プロモーション活動について、物品販売について、PRパンフレットについて、収支計画について、開館時間・休館日について、案内ボランティアの教育について、郷土資料館協議会メンバーについて、高知県との連携について、町民への無料開放について、などの質問がありました。

討論、採決の結果、賛成多数で委員会可決しました。

次に、17 ページをお開きください。議案第 52 号、大磯町旧吉田茂邸再建基金条例を廃止する条例についてです。

主な質疑は、大規模修繕への対応は、旧吉田茂邸整備活性化等基金条例との関係について、基金残高・基金運用の状況は、などの質問がありました。

討論、採決の結果、賛成多数で委員会可決しました。

なお、議会最終日の本会議にて、3 条例とも賛成多数で議決を得ております。

続いて、12 月 7 日、8 日に行なわれた一般質問の概要についてご報告いたします。

18 ページをお開きください。全体では 11 名の議員から 21 問の質問があり、教育委員会関係では、4 名 6 問の質問がありました。

はじめに、坂田よう子議員の質問です。19 ページをご覧ください。

「1. 総合計画後期基本計画、人口ビジョン・総合戦略における現状と展望を問う」の(1)人口ビジョン・総合戦略、4つの戦略に対する進行管理についての質問です。

町長から、子育て支援体制の充実、待機児童の解消に向けた認定こども園の誘致、その他、放課後や朝の居場所づくり事業の拡充、総合教育会議による協議「教員の多忙化について」など対応している、と答弁しました。

再質問の内容は、東部地区の子育て支援センター整備について、中学校の部活動に対する支援体制について、などの質問がありました。

続いて、(2)町の今後の展開についての質問です。

町長から、「観光」「自然」「文化」「歴史」といった大磯の魅力、そして、「子育て」「健康」「教育」といった新たな魅力を伝えていき、若く、そして多くの人たちに住んでいただきたい。よい環境をつくり出し、人口減少、少子高齢化という大きな壁を乗り越え、「継続するまちづくり」、そして決断したまちづくりをやっていく、と答弁しました。

次に、20 ページをお開きください。4、二宮加寿子議員からは、「1. 読書推進運動について」の質問です。

町長からは、図書館は、生涯の学習活動の拠点として、町民の皆さんに読書の機会を提供している。学校における図書館のあり方にも、公共施設の一

つとして、将来を考えていく。また、小中学校に配置した司書活動の充実により、読書習慣の一助として期待している、と答弁しました。

教育長からは、図書館は、学習意欲や学習機会を提供する重要な拠点と位置づけている。より一層のサービスの向上と業務の効果的な運営を目指す。大磯町立図書館サービス計画及び大磯町子ども読書活動推進計画を策定し、本計画に基づき、各種施策を実施していく。

ボランティアの協力により、「おはなしと紙芝居」、「3歳までのおはなし会」を年間を通じて開催している。幼稚園や保育園児の図書館見学、小学校4年生の学級招待、民間団体の活動としては、「まめの木」、「あおむし」や「東光院親と子の朗読会」など、おはなしや絵本の読み聞かせが行われている。学校、地域、家庭等と連携をしながら、子どもたちが読書を通して多くの方と触れ合う取り組みに努めていく。

読書通帳は、平成27年度に作成し、10月末現在で827冊の読書通帳を配布した。読書スタンプラリーの実施、平成27年度は229名の参加があった。町民の皆さんが読書意欲を高め、読書を積極的に進められるよう、各種の催し物や企画を実施するなどして、読書活動の推進や環境整備に取り組んでいく、と答弁しました。

再質問は、学校図書館と町立図書館の連携について、子育て支援センター・つどいの広場への本貸し出し、読書・本の読み聞かせの効果、司書の活用、セカンドブックスタートについて、などの質問がありました。

続いて、「2. 自転車事故防止活動について」の質問です。

町長からは、大磯町交通安全計画において、自転車の事故防止のため交通安全施策を実施している。ハード面では、歩行者の通行区分を明確にするグリーンベルト、横断歩道柵の設置、反射鏡等、注意を促す路面表示など整備している。ソフト面では、幼児から成人まで、ライフステージに応じた交通安全教育の実施、地域の見守り活動を通じて、地域ぐるみでの交通安全に努めている、と答弁しました。

教育長からは、年に2回、学校長、幼稚園長、PTAの代表、区長会や少年補導員の代表の方、大磯警察署、町職員などで構成される大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会を開き、通学路の交通安全に関する協議、自転車も含む交通安全の指導の徹底と情報共有を図っている。各学校では交通安全にかかわるDVDの視聴、警察署から講師を招いての講習、長期休業前の交通安全指導など、継続して交通安全に関する指導を実施している。自転車ルールを学ぶ教材「チリリン・タイム」の活用については、各学校掲示板への掲示、各クラスで教材としての使用など、活用を図っている。自転車交通安全講習「チリリン・スクール」については近年開催していないが、自転車シミュレーターを使用しての体験講習を実施している、と答弁しました。

再質問は、TSマークについて、学校での交通安全指導について、防犯安全対策推進委員会について、「チリリン・タイム」活用について、シミュレーターを使用した交通安全教室について、「チリリン・スクール」について、などの質問がありました。

次に、23ページをお開きください。8、柴崎茂議員からは「1. 大磯町行政組織の中で地方公務員法違反はないか」についての質問でした。

町長からは、大磯町情報公開条例の規定に基づき、行政情報の適切な管理体制の確立に努めながら運用している。虚偽公文書作成については、刑法に規定する公文書の無形偽造に当たるような行為はないものと考えている。全ての職員は法令等の規定に従い職務を遂行している、と答弁しました。

再質問としては、『湘南ジャーナル』の記事掲載について、国府中学校修学旅行の問題について、公文書偽造により警察へ告発することについて、などの質問がありました。

続いて2点目の「2. 業者に利益供与はないか」についての質問でした。

町長からは、エンゼルフーズ株式会社については、公募型プロポーザル方式により選定し、「大磯町立中学校給食・調理配送等業務委託」に関する契約を締結している。業者選定に当たっては、選定委員会を立ち上げ審議し、地方自治法、大磯町契約規則等に基づき適正に契約し、特定の業者に対して不当に利益を供与した事実はないものと認識している。

教育長からは、小・中学校では、修学旅行を実施するに当たり、交通機関や宿泊先の手配を旅行業者に依頼している。修学旅行費用は、保護者からの徴収金、いわゆる私費会計であり、町の公会計とは異なるが、業者選定に当たっては、複数の業者による見積もり合わせや企画提案を受け、保護者代表も含めた選定委員会を経て決定しており、公正な取引をしているものと認識している。契約に際し、特定の業者への利益供与はない、と答弁しました。

再質問としては、中学校給食調理配送等委託契約について、異物混入について、給食費について、地産地消について、給食費・保育料の不能欠損について、修学旅行業者の決定について、などの質問がありました。

次に、24 ページをお開きください。11、玉虫志保実議員からは「1. 大磯町立中学校の給食について」の質問です。

町長からは、給食導入の趣旨は食育という観点である。学校給食の必要性を申し上げてきたが、十分にその意図が伝わっていなかった面もあり、反省している。様々な食生活の中で、義務教育9年だけでなく、人生の3分の1をしっかりとした栄養に基づいた形で子どもたちに食事を与えていきたい、という思いで給食を導入した、と答弁しました。

教育長からは、現在の給食システムでは、無添加の調味料の持ち味である色と香りが生かし切れない、という理由から使用を見送っているが、献立によっては使用することも考えている。食の安全上、問題のない調味料を使用していくことはもちろんだが、できる限り無添加の調味料を使用するよう努めていく。調理施設変更のメリットについては、新調理場ではジェットオープンなど調理器具の充実により、献立を工夫できる点がある。課題としては、調理場スタッフが変更したため、盛りつけなど、でき上がりに若干むらが生じていることなどがある。

栄養士の業務内容は、献立作成、物資発注、食育指導補助等である。補食の検討については、おかわり御飯の検討、補食の持参など検討していくが、ルールづくり、栄養士指導、助言等の必要性も視野に入れている。地場産みかんの提供については、流通経路の確立も含め、研究していく、と答弁しました。

再質問としては、補食について、無添加の調味料について、配送ルート・配送トラブルの対応について、献立・食育について、食材の調達について、ハンバーグの製作について、任期付採用の栄養士について、町長の試食について、などの質問がありました。

以上が一般質問の質問及び答弁の概要です。

次に、25 ページをご覧ください。12 月 13 日、本会議が開催され、一般会計補正予算（第 4 号）が追加議案として審議されました。内容はすべて教育委員会関連となります。

主な質疑は、条例と補正予算議案の提案の仕方について、寄附者の意向について、などの質問がありました。

討論、採決の結果、賛成多数で可決しました。

平成 28 年第 4 回大磯町議会定例会の概要報告については以上でございます。なお、本議会の会議録については、後日、議会事務局により作成し、町ホームページに掲載されますので、会議録の詳細については後日ご覧いただきたいと存じます。以上です。

質疑応答)

濱名委員) 柴崎議員の質問というか報告の中で、公文書偽造について告発すると言っている、その公文書偽造というのはどういうことを指していますか。

教育部長) 一般質問の中では、特に具体的なこうこうというのはございませんでした。ですから、内容が実際にどういうことで告発されるのか、趣旨についてもわかりかねます。以上です。

報告事項第 2 号 平成 28 年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの実施結果について

生涯学習課長) 本年度の成人式ならびに新成人記念のつどいは、平成 29 年 1 月 9 日の成人の日、午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで、大磯町立国府小学校体育館で開催いたしました。例年と同様に、前半は大磯町と大磯町教育委員会の主催する式典、後半は新成人が組織する実行委員会主催による「新成人記念のつどい」が開催されました。本年度の新成人該当者は、平成 8 年 4 月 2 日から平成 9 年 4 月 1 日生まれの、279 人でした。当日の新成人出席者は男性 99 人、女性 108 人の合計 207 人でした。出席率は男性 69.72%、女性 78.83%、全体で 74.19%となっております。また、この他に町外に居住し参加を希望し出席した新成人は男性 12 人、女性 8 人で合計 20 人でした。次に、実行委員会の主催するつどい並びにティーパーティーの出席者は、291 人でした。内訳は新成人 224 人、来賓 67 人でした。なお、ティーパーティー参加費の残余金は、29,920 円でございます。残余金は、実行委員会の総意により大磯町社会福祉協議会に寄附をすることになりました。

参考までに、平成 20 年以降の推移表を掲載いたしましたので、ご覧いただきたいと思っております。本年度の新成人該当者は、昨年より 19 人増加しており、

出席率も約4%増加しています。なお、3年前から実施しています高校生や大学生等の当日ボランティアについては、本年は応募がありませんでした。

質疑応答)

中野委員) 今年度は大磯プリンスホテルが使えず、国府小学校の体育館となりましたが、私が見ている、結局子どもたちは場所ではなくて、着飾って懐かしい友達と会うことが目的であり、特に場所がどうのこうのというこだわりはなく感じられて、非常に和やかで楽しそうでよかったと思うのですが、何か新成人のほうから、大磯プリンスホテルでできなかったというような、残念な意見とかありましたか。

生涯学習課長) ここ最近はずっと大磯プリンスホテルでやってきましたので、当初は、やはり今年度だけ大磯プリンスホテルでできないということに対して、残念な声というのは正直ございました。ただ、もう実際に小学校の体育館でやるということに決まってから、積極的にいろいろな案を出していただきましたし、少しでもよりよい、思い出に残るような成人式ということで、実行委員さんが本当にいろいろと考えていただきました。

その一つの方向性といいますか、式典には着座をするという形を、実行委員さんのほうから提案がございましたので、そういう意味では、実行委員さんが主体的にいろいろなことを考えていただいて、今回の成人式ができたということで、反省会も行いましたけれども、その中でも自ら評価されている部分もたくさんございました。

中野委員) 式典の着座というのは、非常にいいなと実は思っていて、今まで大磯プリンスホテルですと、最初から円卓で向かい合わせに立っていたのですけれども、やはり人の話をちゃんと聞けるような形になっていたなと思って、私は非常によかったと思いました。

生涯学習課長) 実行委員さんも、受付から着座に移ることがスムーズにいくかどうかということ、かなり心配されていましたが、実行委員さんも積極的に声をかけていただきましたので、そのあたりもスムーズにいったのではないかと思います。ただ、反省会の中でも出ましたけれども、式典と次の集いが、同じ着座のまま移行しましたので、ちょっとその境目がわからなくて、式典だけで帰られるという予定の方も何人かおられたんですが、要するに席を立つタイミングを失ったというような反省も出ましたので、着座は非常によかったのですが、着座したゆえの新たな課題も見つかったような状況でございます。

報告事項第3号 企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」の実施結果について

郷土資料館長) 報告事項第3号、企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」の実施結果について、ご説明させていただきます。

資料裏面をご覧ください。今回の展示は、リニューアルオープン記念の平成28年度第1回企画展として、平成28年11月3日（木・祝）から12月18日（日）まで、39日間にわたって開催いたしました。

今回の企画展は、郷土資料館リニューアルに際し、近現代史の展示を強化することから、別荘文化の形成と発展に関わる資料を紹介することとし、

神奈川県内各地の発掘調査等で得られた近代の資料をもとに、展示を構成することとしました。また今回の展示は神奈川県教育委員会との共催で行なったものであります。

会期中の入館者は7,801人で、1日平均200の方が来館されたこととなります。ほか、資料記載の関連行事を実施いたしました。

質疑応答)

曾田委員) 近代という言葉は便利なのですがけれども、いつの時代を指しているのか、全くわからないので教えてください。何年ごろから何年、現代まで教えてください。

郷土資料館長) 一般的に近代という定義は、明治維新から太平洋戦争終結までを指しますが、今回は幕末の外国人居留地設置の時期から、明治・大正期を中心に、太平洋戦争終結ぐらいまでを扱っております。

曾田委員) それはどこかに説明ありましたか。今回、時代の設定はどうなっていたか、説明はありますか。

郷土資料館長) 概略は展示室のキャプション、または図録等でも説明させていただきました。

曾田委員) 経緯についてはよくわかりました。

報告事項第4号 図書館教養講座『駅舎をめぐる冒険』について

図書館長) 報告事項第4号の図書館教養講座「駅舎をめぐる冒険」についてご説明します。

この講座は図書館の集会活動の一環として広く学習の場を提供して、図書館をより親しみやすい身近なものとするを目的として毎年開催しておりますが、今回は、『駅舎をめぐる冒険～全国の駅と神奈川の駅』と題して、近年鉄道趣味のひとつのジャンルになっている「駅舎めぐり」をテーマに、全国の名駅舎、大正時代に建てられた大磯駅舎の貴重さなど、駅舎の見方や見どころなどを豊富な写真とともに紹介します。

日程としては、2月18日、25日の2回開催で、いずれも、土曜日に開催します。場所は、図書館大会議室で行います。講師は、町内在住で交通フォトライターとして国内外を巡っている杉崎行恭さんをお願いしています。杉崎さんの主な著書としては、『駅舎』、『駅舎再発見』、『異形のステーション』など多数あります。

募集人数は 30 名で 2 月 1 日（水）から来館または電話で募集します。周知につきましては、ポスター、チラシ、広報 2 月号、図書館ホームページにて、周知を行います。

質疑応答) なし

報告事項第 5 号 児童文学講演会『絵本の力 紙芝居の力』について

図書館長) 報告事項第 5 号の児童文学講演会「絵本の力 紙芝居の力」の開催についてご説明します。

この講座は児童文学者の話を直接聞くことにより、本に親しみを感じ読書をより身近なものとするきっかけを作ることを目的として毎年開催しております。今回は児童文学者として、子どもに対してどのようにお話を考え、文章を書いていくかなどの、創作時の工夫や苦労する点などを講演のテーマにしています。

講師は、幼年童話作家のすとうあさえさんをお願いしています。すとうさんの主な著書としては、『子どもと楽しむ行事とあそびの絵本』、『はしれディーゼルきかんしゃデーデ』、『ざぼんじいさんのかきのき』など多数あります。

開催日は、3 月 5 日、日曜日。場所は図書館大会議室で行います。対象は小中学生の親子を中心として、広く児童文学に興味のある方として、募集人数は 40 名で 2 月 3 日（金）から来館または電話で募集します。周知につきましては、ポスター、チラシ、広報 2 月号、図書館ホームページにて、周知を行います。

質疑応答)

中野委員) 「ざぼんじいさんのかきのき」で、すとうあさえさんを思い出して、この方は非常に有名な方だと思ったのですが、これ 40 人で定員いっぱいになってしまいそうですが、大丈夫ですか。

図書館長) 募集人員 40 名としておりますけれども、募集状況を見て、多少でしたら人数を増やすことができます。最大で 60 名近くは大丈夫だと思います。

協議事項第 1 号 教育長職務代理者の指名について

教育長) それでは、協議事項に戻ります。次の協議事項第 1 号「教育長職務代理者の指名について」は、人事案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項及び大磯町教育委員会会議規則第 12 条の規定により、審議については、秘密会としたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) ご承認いただきましたので、協議事項第1号の審議については秘密会といたします。傍聴者は退室をお願いします。暫時休憩します。

===== 秘 密 会 =====

教育長) それでは、休憩を閉じて、公開の会議を再開します。

ただいま、秘密会において審議いたしました、協議事項第1号「教育長職務代理者の指名について」は、曾田成則委員を教育長職務代理者として指名しましたことをご報告いたします。

(その他)

事務局) 次回の定例会は、2月23日(木)、午前9時から、郷土資料館で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成28年度大磯町教育委員会第10回定例会を閉会いたします。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成29年 2月23日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____